



松本一哉

2018年9月10日(月)

「夏の終わり、秋の始まりの音楽会」

東京を拠点に活動している音楽家、サウンドアーティスト、松本一哉による演奏会が今年もコミュニティカフェEMANONにて開催。波紋音などの造形物を使用し、音の響きそのものを空間に溶け込ませて、類をみない音の世界へと誘います。夏と秋のあいだで揺れ動く音を、ぜひ感じに来てください。

会場情報

コミュニティカフェEMANON

(〒961-0905 福島県白河市本町9番地)

開場18:30 / 開演19:00

料金：前売り2,000円(ワンドリンク付き／当日2,500円)

予約・お問い合わせ：Eメール emanon.fks@gmail.com

またはお電話 0248-57-4067 まで



松本一哉

東京を拠点に活動している石川県金沢出身の音楽家、サウンドアーティスト、作曲家、打楽器奏者、ドラマー。

主に楽器ではなく、波紋音を中心とした音の鳴る造形物や非楽器を使用。

音階や旋律ではなく音の響きそのものや、音の流れに着目し、自然の中での演奏・録音からドキュメンタルな作品作りを行うなど、独自の音楽活動を展開。

自身の演奏と環境音とを繋げていき、空間全体を聴く事で表現する即興音楽は、打楽器奏者の枠を超えより自由に空間の成り立ちを提示できる数少ないアーティストとして様々な分野から高い評価を受けている。

2013 年

瀬戸内国際芸術祭の関連事業「おとくち」プロジェクトにてグランプリを受賞。

2014 年

原始感覚美術祭 2014 水のかたがきの音楽担当。

2015 年

自初のソロ作品“水のかたち”をミニマル・アンビエントの名門レーベル SPEKK からリリース。

2016 年

DOMMUNE にて自主企画を配信し、DOMMUNE 主催の宇川直宏に「神回」と賞賛。

全国 56 ヶ所を周る水のかたちリリースツアーを開催。

2017 年

建築家・黒川紀章の初期の代表作である中銀カプセルタワービルにて展示「サウンドカプセル ～松本一哉自身が展示物～」を行う。

2nd アルバム“落ちる散る満ちる”を SPEKK からリリース。47 都道府県全てを周る、全 100 公演超えの落ちる散る満ちるリリースツアーを開催。

2018 年

ICC 開催「オープン・スペース 2018 イン・トランジション」内で展示される吉開菜央「Bouquet / いま 一番うつくしいあなたたちへ」の音楽を担当。

chago/Residence Gallery にて音を展示し続ける動態展示「モメント／メメント」を開催。

《音源作品》



2015.12.24. release 1st Album
水のかたち



2017.6.25. release 2nd Album
落ちる散る満ちる

波紋音（はもん）

古くからあるものではなく、現代の彫刻家、斎藤鉄平さんが水琴窟の音に触発され、創作されたものです。鉄を鍛金で丸くし、打面に溶断でスリットが入れられており、一つの波紋音からいくつもの音が出る仕掛けになっています。ごくシンプルな構造でありながら見た目の印象とは違い、驚くほど様々な音の表情を見せてくれます。是非この機会に間近で体感してみてください。

